

日生の海の幸満喫

初の飲み歩き催し「ヒナセノミーノ」
家族連れら参加店はしご

備前市日生町地区で5日、初の飲み歩きイベント「ヒナセノミーノ」が開かれ、お好み焼き店や居酒屋など、参加の26店で提供される漁師町ならではの味を観光客らが楽しんだ。冬の力キ以外にも豊

富な海の幸をPRしようとして、まちおこしグループ「日生カキオコまちづくりの会」が、岡山市で定着している「ハレノミーノ」を参考に企画。JR日生駅から徒歩20分ほどのエリアを会場にした。各店は、ハモやエビのフライ、焼きイカ、イシモチの空揚げ、ミイニお好み焼きといった当日限定の料理と飲み物のセットを一律500円で用意。訪れた家族連れらは日生町観光協会などで千円単位の



「ヒナセノミーノ」の参加店で料理や飲み物を楽しむ人たち

券を買い、地図を手に店をはしごしていた。公務員森寄幸さん(55)＝岡山市北区いずみ町＝は「焼きアナゴがおいしかった。券の売り場で初めて会った人と一緒に店を回れて楽しめた」と満足そうだった。(岸俊行)

Toubi

東 備 版

電子版なら他の地域版も読める

山陽新聞デジタル

<http://www.sanyonews.jp>

飲み歩きイベント「ヒナセノミーノ」

5日、備前市日生町地区であった初の飲み歩きイベント「ヒナセノミーノ」。市内外から観光客が次々と訪れ、漁師町自慢の味覚を堪能した。(岸俊行)

漁師町の味覚堪能

JR日生駅などから会場エリアに入った友達グループや家族連れらは、26の参加店の場所や各店の当日限定メニューを載せた地図を手にそろそろ歩き。店では、魚介類をメインに使った料理や店員との和やかな会話を楽しんだ。

日生町観光協会が入る建物のロビーでは、ウェルカムドリンクとして抹茶やビールが無料で振る舞われた。抹茶のサービスでは、リヤカーを改造した「移動式茶室」がお目見えした。

イベントを主催したまちおしグループ「日生かまこまちづく

ウェルカムドリンクを振る舞うため登場した「移動式茶室」



者の『おいしかった』という声に手応えを感じた。来年の春にまだりの会」の江端泰臣会長は「来場開きたい」と話している。



メニューなどが載った地図を手に酒歩きグループ



「ヒナセノミーノ」の参加店で料理を楽しむ家族連れら